

が多く、成功のうちに終了できた。

- ④ 唯一の補助事業である「レクリエーション実技指導者研修会」を開催し、今後益々求められる余暇指導の充実した実技研修を開催することができた。

(5) 施設・設備の保全と事故防止の徹底

- ① 防災組織を確立し、責任体制を明確にして、日常及び月例点検を行い、施設・設備の保全に努めた。
- ② 利用団体に対する事故防止の指導は、事前研修会及び事前打合せ時に実施し、引率指導者に対する指導の徹底を図った。
- ③ 避難訓練と職員による防災器具器材の使用法の訓練を実施し、事故防止に万全を期した。
- ④ 防災委員会を定期的に開催し、施設の保全と事故防止を図った。特に野外パトロール隊を編成し、山火事等の防止に努めた。
- ⑤ 食中毒の防止については、月例給食委員会を開催し予防指導と食品管理、調理員の衛生指導の徹底を図った。
- ⑥ 関係機関に建物の防火査察を依頼し、建物の保全と事故防止に万全を期した。
- ⑦ 野外活動における事故防止のため、野外施設及び活動コースの安全点検と引率指導者との連携を密にして防止に万全を期した。

(6) 職員研修の充実と資質の向上

- ① 児童・生徒が意欲を燃やし、自主的に活動を進めていくための効果的な指導助言の在り方について研究をすすめた。
- ② 少年自然の家の望ましい運営についての所内研修を計画的に実施し、職員の資質の向上を図った。
- ③ 研修会・講習会への積極的な参加によって、施設運営及び指導についての研修を深めることができた。
- ④ 全国・東北・北海道地区少年自然の家と連携を密にし、県内社会教育施設と協力し、研修効果を高めることができた。
- ⑤ 施設利用の教育効果をさぐるための調査研究計画をたて、実証的に把握する研究をすすめた。

3 職員組織

職名	所長	次長	主査	主事	主任社会教育主事	指導主事	社会教育主事	運転手兼用務員	計
人員	1	1	1	1	1	5	1	1	12

第2節 施設・設備の概要

1 所在地

福島県河沼郡会津坂下町大字八日字西東山4495-1

2 敷地面積

251,432㎡

3 建物

(1) 本館建物

- ① 管理研修棟（鉄筋コンクリート造2階建） 998.8㎡
 - ② プレイホール（高床鉄筋平屋建） 913.3
 - ③ 宿泊棟（鉄筋コンクリート造） 2,471.5
 - ④ アセンブリホール（鉄筋コンクリート造平屋建） 397.7
 - ⑤ 機械室棟（鉄筋コンクリート造3階建） 261.4
 - ⑥ 廊下（鉄骨造） 99.8
- 計 5,142.5

(2) 野外建物

- ① 浄化槽（鉄筋コンクリート平屋建） 16.6
 - ② ロッジ（木造平屋建）10棟 延350.0
 - ③ 野外活動管理センター（鉄筋コンクリート平屋建） 154.0
 - ④ 炊事場（鉄筋コンクリート平屋建） 84.0
 - ⑤ 高置水槽（鉄筋コンクリート平屋建） 36.0
 - ⑥ 薪倉庫（コンクリートブロック平屋建） 9.9
 - ⑦ 車庫（鉄筋コンクリート造平屋建） 49.6
 - ⑧ 野外便所（鉄筋コンクリート造平屋建） 53.8
- 計 753.9

(3) 公舎

- 所長公舎（木造モルタル造平屋建） 89.4

4 宿泊施設

- ・ 本館 300名
- ・ ロッジ 150名（テント10張 60名）

5 野外施設

- (1) フィールドアスレチック（25ポイント）（約1km）
- (2) 野外活動コース
 - ① フィールドワーク 8コース
 - ② オリエンテーリング 4コース
 - ③ ハイキングコース 7コース
 - ④ ウォークラリーコース 3コース
 - ⑤ アドベンチャーコース 1コース

(3) つどいの広場・ふれあいの広場・運動広場

- (4) 野外照明 11基
- (5) 営火場 3か所
- (6) その他

スキー・そり乗り場・冒険の森・昆虫の森・テントサイト

6 主な備品

(1) 体育用備品

- ① 屋内 卓球台・バドミントン・ドッジボール・ミニバスケットボール・タンバリン・跳なわ(100)・キャンドルファイヤー用具
- ② 屋外 スキー用具(230人分)・そり(150人分)・雪ぐつ(180足)・輪かんじき(100足)・スキー用ゼッケン(500人分)

(2) 学芸用備品

クラフト用具(切り絵・フレッシュブルカイト)・ピアノ・オルガン・アコー